

第2回 滋賀県総合教育会議について

文教・警察常任委員会資料
平成27年7月10日(金)
教育委員会事務局教育総務課

会議次第

平成27年6月22日(月)
17:45~19:35
北新館5-A会議室

1. 大綱の策定について

2. 重点施策の取組状況について

①学ぶ力の向上に向けた取組

②彦根・長浜の統合新校の開校に向けた取組について

3. 多様な教育主体の取組について(ヒアリング)

志門塾	・・・	総塾長	成瀬 正 氏
おうみ進学プラザ	・・・	代表取締役社長	福井 清人 氏
株式会社タオ	・・・	代表取締役社長	井内 良三 氏

主な意見

《1. 大綱の策定について》

- ・本県の教育振興基本計画(「基本計画」)は、パブリックコメントや議会の議決を経た県民総意のもので、教育施策を総合的・体系的に定めた中期的な計画。
- ・基本計画とは別に大綱を策定した場合、混乱を招くおそれがある。むしろ、基本計画に書かれたことをしっかりと実現していくことが重要。
- ・基本計画に、新たに、知事の言葉で滋賀県教育に関する決意を示した前文を付したものを大綱としたい。議会をはじめ県民の皆さんにも丁寧に説明したい。

《2. 重点施策の取組状況について》

- ・全国学力・学習状況調査について、各校が自校採点により状況を把握し、改善に活かしていくことが重要。
- ・統合新校の特徴が、中学生の進路選択に結びつくよう、丁寧に説明してほしい。

《3. 多様な教育主体の取組について》

- ・最近、他人のせいにして、すぐに言い訳をする子どもが増えているのではないかと。ルール違反に対しては厳しく叱りつつ、必ずあとでフォローするようにしている。
- ・昔と比べ、子どもが、地域の大人との関わりの中で、自分の内面を見つめる機会が減っている。当塾は、講師に自らの体験、特に失敗談を自分の言葉で語らせている。
- ・学校よりも、塾への就職を希望する者が増えているように感じる。また、いい意味での「頑固な先生」が減っている。教員が頑張りやすい環境整備をお願いしたい。
- ・教員の教育活動にも「ICTでできること」がある。教員をこういう仕事から解放し、人間にしかできない仕事に集中させるべき。



開会の様子。
タイトル看板は、高校生(書道部)に作成いただきました。



重点施策について、「学ぶ力の向上」に向けた放課後支援員の活用状況や新校開設に向けた準備状況、各校の特徴を議論しました。



有識者からそれぞれ教育に関する取組や県への提言についてプレゼンテーションをいただきました。

その後、有識者を交え、最近の子どもたちの変化、学校の教員に期待される役割などについて議論しました。